

本 時 の 指 導

ねらい	電解質水溶液に2種類の金属片を入れると、電流が流れることを知る。 一人一人が持つ問題解決能力を発揮する。 班や学級での話し合いで自分の発見を自分の言葉で工夫して発表しようとする。				
学習過程	時間	学 習 活 動	形態	教師の支援と指導	指導上の工夫() 評価()
1. 疑問の把握	5	時計を観察 疑問を出させる。 ・ どうして動くのか。 ・ こんなんで電池になるの。 ・ この金属は何？	一斉	テレビに映し、現象を全員に理解させる。	電子オルゴールを使い、音がなるか試してみる。(極性があることを確認)
2. 課題の把握	2	電池を作る条件を見つけよう	一斉		本時の課題を理解しているか。 ワークシートに記入する。
3. 予想の立案	5	条件の予想を設定する。 ・ 液体 ・ 金属	個人 班 一斉	巨視的に現象をとらえて条件を設定させる。	ヒントカードなど個に応じた援助をし、自分で考えさせる。
4. 実験方法の立案	8	実験方法を考える。 ・ 液体 ・ 金属	個人 小集団	理科室にある道具や材料を見て考えさせる。	身近な材料を活用させる。
5. 実験	20	・ 測定装置 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">豆電球 モーター</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">直流電流計 直流電圧計 電子オルゴール</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; margin-top: 10px;">電流計 電圧計</div>	小集団	豆電球とモーターを使って確認する班には、電流計が電圧計の使用を援助する。	電池ができた班は前の黒板に記入する。 小集団実験を意欲的にできたか。 (関心・意欲)
6. まとめ	5	個人で考える。 班で話し合う。	個人 小集団	廃液は、薬品と日常生活水溶液に分けて回収する。	自分の言葉で表現を工夫して説明できるか。 (技能・表現)
7. 新たな課題発見	5	次時の活動について知らせ て活動の意欲を高める。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">豆電球とモーターを動かそう</div>	一斉	必要と思う物があれば、各自で用意。	授業終了後、評価する。 (関心・意欲、知識・理解)
研究の視点	一人一人がもつ問題解決能力を発揮させる学習の場となっていたか。				